



➤ 福岡県連便り

- ・平成26年度 定期評議員会
5月24日(土) 博多の森センターコート役員室で開催された。
- ・平成25年度収支決算書は承認された。平成26年度収支予算書について国体関係予算についての議論があり、理事会での再検討を行う事になった。
予算案は単年度につき収入より支出が多いため以下の2点を参加者負担とする。
 - ① 新年交礼射会 参加費1,000円、審査員研修会 参加費600円と決定された。
 - ② 12月の理事会は中止。
- ・研射会の採点基準の変更。
- ・県近的選手権大会参加人数の変更。
- ・西日本弓道大会の開催地は北九州市。
- ・11月24,25日 臨時中央審査会の開催地は北九州市。
- ・26年度県連役員の変更。
筑後地区長退任 坂口高精 (18年度～25年度の8年間)
筑後地区長 高尾芳樹

➤ 審査、講習会関連

各審査において下記の方々が昇格昇段されました。おめでとうございます。

審査、講習会	開催日、会場	成績、概要
九州地区 錬士臨時中央審査	6月8日(日) 植木弓道場	錬士合格者 9名 内、福岡県3名合格 庵原徳郎(福岡地区) 的野茂登子(福岡地区) 原口勝利(筑豊地区)

➤ 射会、大会関連

射会、大会	開催日、会場	成績、概要
全日本勤労者 弓道選手権大会予選	4月12日(日) 博多の森弓道場 参加者 9チーム (27名)	①福岡県教職員 (鎌田修治、棕田孝行、藤野小百合) ②航空自衛隊福岡 (久保田正謙、松浦幸子、森山直己) ③西友 (深見恭行、肥山善憲、岡村良彰) 1位、2位それぞれ1チーム(3人編成)が全国大会(6月6日～8日・和歌山県田辺市)に出場した。全国大会の結果は残念ながら予選落ちをした。
第28回福岡県 大学弓道選手権大会	6月15日(日) 福岡武道館弓道場 参加者 107名 矢渡 矢渡 射手 塩川安之 介添 福地しづか 坂本奈美穂	競技は四矢二立の予選を行い、上位8チームのトーナメント戦を行なった。 団体男子 ①日本経済大学(小池勇也、渡部陽平、川崎龍也、田中拓也、矢野翼) ②西日本工業大学(横尾圭一郎、恒成龍也、大出水士郎、松田風竜、山下礼歩) ③北九州市立大(河津雄介、淵野寛明、丸野諒、宮本真臣、中西涼) ③福岡大学(岩猿士苑、永田浩平、西村将希、横尾勝彦、川東雄太) 団体女子 ①福岡大学(野村果保、片瀨千尋、渡邊紫乃) ②九州大学(戸高侑希子、渡部瑞希、平田萌子) ③日本経済大学(秋元加菜江、児島楓澄、矢野貴子) ③福岡教育大学(田村章乃、グエンティ・ニュン、西尾彩伽) 個人男子 ①矢野翼(日本経済大学) ②植月良祐(九州大学) ③友成仁紀(久留米大学) ④淵野寛明(北九州大学) ⑤岩猿士苑(福岡大学) 個人女子 ①秋元加菜江(日本経済大学) ②平田萌子(九州大学) ③片瀨千尋(福岡大学) ④矢野貴子(日本経済大学) ⑤西尾彩伽(福岡教育大学) 射技優秀賞 男子 長谷川和史(久留米大学) 女子 渡邊紫乃(福岡大学)



➤ 射会、大会関連

射会、大会	開催日、会場	成績、概要
<p>第42回福岡県 中学生弓道大会</p>	<p>6月29日(日) 久留米市弓道場 参加者 89名 矢渡 射手 高尾芳樹 介添 岩永洋子 今津正子</p>	<p>第11回全国大会、第35回九州大会予選会を兼ねて開催された。 若い前途有望な中学生が食い入るように見守る中、静かに矢渡始まり、一本目の甲矢が見事に的中すると「ウォー」という歓声が上がっていた。 参加人数は89名と昨年よりは少なかったが、男子と女子の2部で団体と個人の競技が4矢3立計12射で競われ、レベルの高い競技となった。</p> <p>団体男子 ①大川南C(今村凌太、龍昴孝、石橋英久) ②大川南B(橋本光洋、横田聖斗、木村俊介) ③三 瀧A(辻 馨、馬場遙己、原武孝征)</p> <p>団体女子 ①三 輪A(井上紗貴子、野田祐華、寺崎優) ②大川南A(古賀滯里、龍陽香莉、津崎七海) ③三 瀧A(増江さら、富松紀花、大石愛海)</p> <p>個人男子 ①今村凌太(大川南) ②横田聖斗(大川南) ③石橋英久(大川南) ④馬場遙己(三 瀧) ⑤横尾永和(大 川)</p> <p>個人女子 ①野田祐華(三 輪) ②寺崎 優(三 輪) ③富松紀花(三 瀧) ④入部杏袈(三 輪) ⑤松浦楓果(三 瀧)</p>





➤ 筑豊地区便り

射会、大会、講習会	開催日、会場	成績、概要
筑豊地区女子達講習会	2月2日(日) 田川市弓道場 参加者 36名 矢渡 射手 吉田治美 介添 上川たみえ 入江ふじ子 主任講師 中山コノエ 講師 吉田 司 舛田真理子 石橋孝子	射礼研修①一手行射(審査の要領)②襷さばき及び介添の心得、失の心得と実習を行い、午後からは4班に分かれての射技指導、最後に総まとめとして中山コノエ主任講師並びに吉田司会長の講評、質疑応答と午後5時近くまで受講者一同、一生懸命に研修に励みました。
第47回春季筑豊地区道場対抗射会	4月13日(日) 飯塚市弓道場 参加者 50名 矢渡 射手 石橋孝子 介添 佐伯照美 倉池千賀子	一手礼射 競技 三人立ち 二射場 四矢二立 立射 団体の部 ①香春町 香獄館A(安部文敏・増田好枝・小俣近宏) ②日 王 弓友会B(藤岡利恵子・岩本美香・吉田啓子) ③飯 塚 一鷺会A(田中美紀夫・吉田隆一・井上 明) 称号の部 ①吉田啓子(福智町)②石橋博勝(飯塚市)③小俣近宏(香春町) 男子の部 ①田中美紀夫(飯塚市)②吉田隆一(飯塚市)③原口勝利(田川市) 女子の部 ①待鳥友希江(直方市)②豊田真子(直方市)③岩本美香(福智町) 最高の中賞 吉田啓子(福智町) 射技努力賞 石橋博勝(飯塚市) 四段以下 藤田豊子(直方市)
第44回田川市長杯争奪近県弓道大会 	4月27日(日) 田川市弓道場 参加者 150名 矢渡 射手 加生末男 介添 原口勝利 東田義文	四矢二立の競技を開始した。 総合優勝 松尾恵一(八女市) 団体 ①田川弓友会C(東田義文・新 忠雄・原口勝利) ②的場G・G(白石睦雄・鍛田厚行・木下剛夫) ③香春町香獄館B(安部文敏・加治孝則・小俣近宏) 個人 一般男子 ①白石睦雄(的場)②新忠雄(田川市)③待鳥順也(くらじの君) 一般女子 ①川畑美枝子(的場E)②待鳥友希江(くらじの君)③ 川崎知佐(個人)
筑豊地区弓道近の選手権大会	6月1日(日) 田川市弓道場 参加者 19名	予選は1手2立、決勝は1手5立で競技を行った。 男子の部 ①福田良人(飯塚)②原口勝利(田川)③花村憲次(飯塚) 女子の部 ①石橋孝子(鞍手)②藤岡利恵子(福智)③舛田真理子(田川) 県弓道近の選手権出場者 男子・中川謙治・花村憲次・原口勝利・福田良人 女子・中山コノエ・石橋孝子・舛田真理子・藤岡利恵子
第14回筑豊地区遠の大会	6月29日(日) 福智町弓道場 参加者数 33名 矢渡 射手 中山コノエ	男子の部 ①原口勝利(田川市)②安部文敏(香春町)③吉田 司(田川市) ④今村 浩(飯塚市)⑤東田義文(田川市) 女子の部 ①石橋孝子(鞍手町)②佐藤 泉(福智町)③舛田真理子(田川市) ④吉田啓子(福智町)⑤藤岡利恵子(福智町)



➤ 北九州地区

射会、大会、講習会	開催日、会場	成績、概要
第30回の場池弓道場 開設記念弓道大会	4月20日(日) 的場池弓道場 参加者252名 矢渡 射手 那須不二男	前日からの雨に打たれて新緑が鮮やかに映える一日、開設30周年を記念して北九州市を中心に集まった弓道愛好家によって熱戦が繰り広げられた。 更に、およそ二年がかりで用意された手作りの弓巻が参加賞で配られ、記念大会に花を添えた。 矢渡は日置流印西派体配で行われた。 大会は一手+4矢の計6本による的中数により、団体戦、個人男・女、無段の部で争われた。 団体の部 ①香春町香嶽館B(増田好枝・古賀義隆・古賀晃子)15中 ②的場B(白石睦雄・鍛田厚行・木下剛夫)14中 ③遠賀(原田佑三子・近野久幸・川崎悠貴)13中 個人 男子の部 ①東田義文(田川弓友会)6中 ②近野久幸(遠賀)6中 ③古賀義隆(香春町香嶽館)5中 ④上永翔平(楠見会小倉高)5中 ⑤石井富可志(乃木道場)5中 女子の部 ①古賀晃子(香春町香嶽館)5中 ②佐藤チズカ(小倉南弓徳会)5中 ③増田好枝(香春町香嶽館)5中 ④橋口恵子(小倉南弓徳会)4中 ⑤森藤アケミ(福智)4中 無段の部 ①佐保直道(楠見会)4中 ②山崎千広(楠見会)3中 ③山道菜央(楠見会)3中
北九州弓道 近の選手権大会	4月26日(土) 夜宮弓道場 参加者78名 矢渡 射手 戎 政實 介添 河野武富 石原重弘	春の息吹を感じる爽やかな一日、高校生から称号者まで集まって、北九州弓道近の選手権大会が行われた。競技における行射の要領よる一手(坐射)3回、計6射で個人戦が行われた。総合優勝は各部門の優勝者による射詰で決定した。 総合優勝 河野武富(新日鐵住金) 称号者の部 ①河野武富(新日鐵住金)②内木場裕見子(小倉南)③井原和子(夜宮)④杉原義勝(勝山)⑤小原知美(夜宮) 一般男子の部 ①内木場茂(小倉南)②上間拓誠(共立大)③濱島伸太郎(北九大) ④米田主税(小倉南)⑤加藤毅士(夜宮) 一般女子の部 ①小野清子(夜宮)②緒方明美(的場)③飛弾紀子 高校男子の部 ①西山彰(夜宮)②尾家英人(育徳館) 高校女子の部 ①秋永美里(育徳館)②村上佳美(育徳館)
第52回北九州 市民体育祭春季レディ ース・弓道大会	5月11日(日) 夜宮弓道場 参加者54人	時折強い風が道場に吹き込む一日、母の日に合わせて春季レディース弓道大会が開催された。原田瑞枝教士、安田和恵教士による一つの坐射礼の後、段位別に4部門に分かれて、一手坐射と競技の要領による坐射と立射4立ちの合計10射で競技を行った。 総合優勝 阿久井房江(夜宮) I部(無段~三段) ①山口祐子(水巻)②甲斐恵(水巻)③嶋本枝利子(的場池) II部(参段~四段) ①香野芳子(的場池)②横尾里美(夜宮)③久保園由美(行橋) III部(五段) ①吉本后子(勝山)②竹内みゆき(的場池)③小野田深雪(小倉南) ④橋口恵子(小倉南)⑤後藤悦子(勝山) IV部(称号者) ①阿久井房江(夜宮)②池田沙綺子(遠賀)③内木場裕見子(小倉南) 又、競射後に紙皿を的にした余興が行われた。ずらりと並べられた紙皿の裏に書かれた賞品名には、母の日にふさわしいメロン、旬野菜、春キャベツなどがあり、隠された賞品に向かって一喜一憂しながら、最後の一枚に的中するまで挑戦して大いに盛り上がった。



射会, 大会, 講習会	開催日, 会場	成績, 概要
<p>第21回小倉南弓道場 創設弓道大会</p> 	<p>5月18日(日) 小倉南弓道場 参加者167名 矢渡 射手 那須孝美 介添 内木場裕見子 吉村明美</p>	<p>良い天気にも恵まれた一日、北九州市を中心に福岡県内、大分県からも弓道愛好家が集まって記念大会が開催された。各自四矢2回の計8本により団体戦、個人戦を行なった。</p> <p>団体 男子の部 ①小倉南D(中西浩二・米田主税・今次司) ②的場GG(白石陸雄・鍛田厚行・木下剛夫) ③行橋弓道会A(三宮幸徳・秋本有貴・大丸俊幸)</p> <p>女子の部 ①小倉南J(那須悦子・矢野良衣・内木場裕見子) ②小倉南K(久保田尚子・橋口恵子・吉村明美) ③桃弓会C(熊谷美智代・田代さなえ・高村康子)</p> <p>個人 称号の部 ①内木場裕見子(小倉南) ②中野剛(中津扇城弓道会) ③石井富可志(関門) ④橋本満昭(的場) ⑤川畑美枝子(的場)</p> <p>有段男子の部 ①成迫邦彰(求道勝山会) ②今次司(小倉南) ③田中康弘(夜宮) ④濱田實(桃弓会) ⑤庄山幸光(小倉南)</p> <p>有段女子の部 ①神部恵理子(行橋弓道会) ②熊谷美智代(桃弓会) ③大西八壽子(小倉南) ④橋口恵子(小倉南) ⑤矢野良衣(小倉南)</p> <p>無段の部 ①重松大助(小倉南) ②横溝美布夕(楠見会)</p>
<p>北九州地区女子研修会</p>	<p>5月25日(日) 夜宮弓道場 参加者26名 矢渡 射手 仰木洋子 介添 内木場裕見子 吉村明美</p> <p>講師 仰木洋子 大原壽子 安田和恵</p> <p>補助講師 秋武洋子 原田瑞枝</p>	<p>例年通りに北九州の女子を対象とした研修会が開かれた。礼記射義・射法訓唱和の先導者は秋武洋子教士。介添の講評後、講師の先生四人が二組に分かれて、坐射と立射による一つの演武が行われた。その後、受講者を段位に応じて分け、三人で一時的、間合いを変えた持的坐射礼、審査の要領などの射技が行われた。射技の途中でも、その都度、講師の先生方から細かな指導や注意が与えられ、全員が割り振られた研修科目をこなした。</p> <p>午後からはジャージに着替えた体配練習。弓と矢を持って同時に射場に入り、執弓の姿勢、射位での基本動作・姿勢の講習後、実際に矢を射る射技研修が行われた。執弓での左右の拳の位置、射位での矢番え動作などの指摘を受ける受講生が多かった。また、大前の射手は後ろの気配を感じつつ、全体の調和を乱さない気配りなど、調和の重要性を指導された。班別指導の射技の後、最後に2射場に分かれて審査の要領による仕上げ射が行なわれた。</p> <p>教本の記述に沿った動作に加え、臨機応変に対応することも必要で、各動作の確認が具体的に体験できて大変有意義な一日となった。仰木講師から「今回は参加人数が少なかったため、比較的細かな個別指導ができました。教える方も大変だったが、この研修成果を毎日の練習に生かして頑張ってもらいたい」と話され、各自が課題を胸に刻んで研修会を締めくくった。</p>
<p>指導者養成講習会 (四・五段)</p>	<p>6月1日(日) 夜宮弓道場 参加者53名 矢渡 射手 増田俊博 介添 田中勝成 飛弾紀子</p> <p>主任講師 増田俊博 講師 原田瑞枝 班長 桑名巧市</p>	<p>今年度初の四・五段指導者養成講習会が行なわれた。この講習会は熊本市植木弓道場で開催された全日本弓道連盟の地区指導者講習会の成果を県内一般に普及するための中堅層対象の講習会であり、財団法人日本体育協会公認指導員の専門科目免除の適応講習会にもなっている。今後中核となって活躍すべき人材養成には打ってつけの講習会となった。最初に礼記射義・射法訓唱和を後藤悦子受講生の先導で行なった。終了後に介添の講評が行なわれた。今回の主題は基本動作の徹底と確認。受講生を各班に分け、審査の要領、持的坐射礼の取懸けの間合い、物見返しの間合いに割り振って行った。称号者になるためには持的坐射礼は必須の射法であり、全体の息合いや所作の統一など、その場で講師から注意や指導を受けた。昼食後に原田講師による講話が行われた。内容は指導者の心構えと原田講師が受けられた指導者講習会の成果説明で、弓道における詳細な心得を聞き逃さないように、各受講生は熱心にメモをとっていた。最後に検定試験として審査の要領による一手行射が行われ、全員合格に域に達していると認定された。この講習会で得た経験を更に各道場に持ち帰って広めることが重要であり、貴重な講習会となった。</p>



射会、大会、講習会	開催日、会場	成績、概要
北九州地区伝達講習会 (称号者)	6月8日(日) 夜宮弓道場 参加者 33名 矢渡 射手 安田和恵 介添 川畑美枝子 佐藤チズカ 主任講師 安田和恵 講師 上野民夫 補助講師 増田俊博 戎 政實 大原壽矢子	熊本市植木町弓道場で行われた九州地区指導者講習会に参加された先生方を講師として、称号者を対象とした伝達講習会が開かれた。指導者講習会の成果を各地区に伝達することと、財団法人日本体育協会公認指導員の専門科目免除講習会とも兼ねたものとなっている。礼記射義・射法訓唱和の先導者は那須孝美受講生。介添の講評の後、全員による一手行射を行い、全体講評が行われた。続いて、安田、上野両講師による講話が行われた。指導者の心構えと熊本市で行われた九州地区指導者講習会の内容説明で、弓道における詳細な心得を聞き逃さないように、各受講者は熱心にメモをとっていた。昼食後に基本動作の研修が行われた。続いて4射場に分けた別班射技研修が行われ、各射場で受講生に個別指導が行われた。休憩後に段位によって持ち的坐射礼、一つの坐射礼に分かれて射礼研修が行われた。基本に立ち返るには、教本を忠実に守ることが大切ということを実感させられた。最後に専門科目免除のための行射の検定試験が行われ、全員が合格の域に達しているとの判定をいただいて、研修を締めくくった。
第61回西日本 都市対抗弓道大会	6月15日(日) 夜宮弓道場 参加者 283名 矢渡 射手 戎 政實 介添 那須孝美 奥 保幸	絶好の晴天に恵まれた一日、西日本各地より幅広く参集した弓道愛好家によって盛大に大会が開催された。この大会は5人一組の団体戦、個人戦、夫婦や親子など家族で編成する家族大会の3部門で構成されている。団体戦は各自四つ矢一回の合計20射の的中数で順位を決定、家族大会は家族2人の的中数で上位8組を選出し、トーナメント方式で順位を競った。 団体 ①千一ム福岡A(福岡市:佐藤泉・東田義文・森下史子・森下啓太郎・山道健史) ②福大(福岡市:森本秀樹・吉用信雄・中山貴弘・檜崎貴志・坂元恭二) ③若松弓道場(北九州市:松岡昭夫・小田湛久・上野勝美・吉竹康年・増田俊博) 個人 有段男子の部 ①森下啓太郎(福岡市) ②東田義文(福岡市) ③岩本吉正(北九州) 有段女子の部 ①佐藤舞佳(北九州市) ②村田千佳(北九州市) ③内木場裕見子(北九州市) 無段の部 ①塘景祐(北九州市) ②古澤克弥(北九州市) ③渡邊一也(北九州市) 家族の部 ①末永智弥・雅夫妻(周南市) ②林晃一朗・理一郎親子(北九州市) ③待鳥順也・友希江夫妻(直方市) ③内木場茂・裕見子夫妻(北九州市)
北九州弓道 遠的選手権大会	6月22日(日) 桃園弓道場 参加者 53名 矢渡 射手 大原壽矢子	各地で大雨が発生し、矢道の芝が雨につかる悪天候のため、最初の一立ちは近的、その後は遠的二立ちにする変則的な競技に変更して熱戦が繰り広げられた。よって行われた。 大会は4矢3回の計12本による的中数で、称号男女・一般男子・一般女子の部に分かれて争われた。 称号者 男子の部 ①阿久井基(夜宮) ②那須孝美(小倉南) 女子の部 ①小原知美(夜宮) ②佐藤チズカ(小倉南) 一般 男子の部 ①山道健史(夜宮) ②中西浩二(小倉南) ③加藤毅士(夜宮) ④角屋俊之(同) 女子の部 ①飛弾紀子(勝山) ②益田由理(水巻) ③井手憲子(夜宮) 尚、この大会は、8月に福岡市で行なわれる県遠的選手権大会出場選手の選考会も兼ねており、称号者を含めて五段以上の成績上位者の中から男女各8名が選出された。



➤ 福岡地区

射会、大会、講習会	開催日、会場	成績、概要
平成26年宇美八幡宮 春季大祭奉納弓道大会	4月15日(火) 宇美八幡宮弓道場 参加者 105名 矢渡 射手 最高齢者 白水福美(86歳)	福岡近隣のシニア弓道愛好家を集めて「宇美八幡宮春季大祭奉納弓道大会」を開催。晴天にも恵まれ、最高齢の83歳の選手をはじめ80歳代の選手7名等の参加で開催された。 競射会では日頃の成果を十分に発揮せんと無心に的を見つめ、次々に矢を放って的中の音を楽しみながら和気藹々のうちに奉納弓道大会を終えた。 「松の部」(男性72歳以上の部) ①白石睦雄(的場池) ②江崎 寛(久留米) ③田中茂夫(筑前) ④永田昭利(小郡) ⑤本郷寅男(糟屋) 「梅の部」(女性60歳以上の部) ①柴田久美子(城南) ②田中アヤ子(武道館) ③永吉加代子(須恵) ④福原由美子(久留米) ⑤早川和子(宇美) 「竹の部」(男性65歳以上71歳までの部) ①松崎 高(糟屋) ②永井一成(城南) ③鎌田厚行(的場池) ④藤原悦志(宇美) ④香取敏夫(博多)
福岡地区遠的弓道大会	4月20日(日) 博多の森弓道場 参加者183名 (58チーム) 矢渡 射手 倉田俊一	競技は得点制で団体戦3人チーム各自6射計18射による予選を行い、上位16チームによるトーナメントで順位決定を行った。 団体の部 ①須恵(水落 巧、永吉加代子、三宅竜哉) ②春日(勝野耕太郎、中村聖一、春田奈津美) ③宗像(梅田哲弘、早瀬 浩、塩川安之) ③南(岡村良彰、岡村純子、志垣幸貴) ⑤糟屋、春日B、中央、城南B ⑨福津A、東D、博多A、大野城さんた、古賀E、中央A、古賀A、太宰府 個人 男子の部 ①中村聖一(春日) ②宮本貞雄(博多) ③森本秀樹(中央) ④三宅竜哉(須恵) ⑤佐藤裕計(百道) ⑥早瀬 浩(宗像) 女子の部 ①岡村純子(南) ②森本智美(春日) ③下村理智子(糟屋) ④春田奈津美(春日) ⑤永吉加代子(須恵) ⑥河邊眞澄(西)
福岡地区 弓道近的選手権大会	4月29日(火) 博多の森弓道場 参加者 297名 矢渡 中嶋 邦生 徳永佐智子 春田奈津美	男子の部 ①下村 忠司(糟屋) ②毛利幸夫(太宰府) ③立松知紘(那珂川) ④宮本貞雄(博多) ⑤勝野耕太郎(春日) 女子の部 ①作井沙恵子(博多) ②安山恵美子(宗像) ③坂本智美(南) ④古屋順子(至道館) ⑤柴田久美子(城南) 第30回県弓道近的選手権大会参加者 男子(8名) 久保雅則、梅田明宏、熊澤威、吉田隆、宮本貞雄、中村幸一、倉田俊一、阿部政彦 女子(9名) 大島マキエ、深見エツ子、酒見京子、下村理智子、柴田珠美、大坪好子、古屋順子、永吉加代子、田中恵美子



射会、大会、講習会	開催日、会場	成績、概要
<p>第64回西日本弓道選手権大会</p> 	<p>5月18日(日) 博多の森弓道場 参加者 548名 矢渡 射手 久恒政雄 介添 酒見京子 三苦登紀子</p>	<p>県内はもとより、兵庫、広島、山口をはじめ、佐賀、長崎、大分、熊本県からの選手が集まり標記大会を開催した。久恒政雄福岡県弓道連盟会長の歓迎の挨拶の後、矢渡が行なわれた。競技は5人団体各自4矢1立で11中以上が1次予選を通過し、二次予選は10射6中以上の団体が決勝へ進み、各自1射での中上位より順位を決定した。また、個人戦は4射4中者が1次予選通過し、二次予選で1手皆中者が決勝で射詰競射を行なった。</p> <p>団体の部 ①日本経済大学A(小池勇也、渡部陽平、秋元加菜江、矢野翼、佐藤哲太)②熊本ミックス(松岡宏太、本田弥久、佐藤友美、徳永枝里子、鬼海哲矢)③がんばんくん(若浦雄也、古川裕己、木村彰太郎、窪田純一、串尾恭兵)④福岡獅子奮迅会B(溝尻、小笠原、霧田、緒方、森下) ⑤福岡獅子奮迅会A(山道、川崎、佐藤、森下、原口)</p> <p>個人の部 ①小池勇也(日本経済大学A)②串尾強兵(がんばんくん)③緒方浩人(福岡獅子奮迅会B)</p> <p>殊勲賞(4中) 宮本貞雄(博多山王会A)、西村将希(福大A)、戸次美穂(筑女大)、酒見京子(東弓会D)、坂元恭二(福岡中央F)、小野昇吾(九産大A)、炭矢幸泰(福工大A)、中野貴文(福大C)、輪内遼(福大C)、友成仁紀(久大A)、大野一則(福岡南C)宮崎翔太(九共大)、池田知生(筑前A)、矢野貴子(日経大B)、鬼海哲矢(熊本ミックス)、広重竜馬(ちくしもち)、石田真由紀(九女大A)、川原俊樹(山口県立大A)、森下啓太郎(福岡獅子奮迅会B)▽取調賞(6中)勝野耕太郎(糸島イーグルアイ)、横川和志(福大混合)、青木穂菜美(九電至道館A)、下村忠司(粕屋)、田中拓也(日経久留米混合)、田島鈴也(久大A)、金子豊子(瀬高弓道会)、矢野翼(日経大A)、山道健史(福岡獅子奮迅会A)、横尾勝彦(福大B)、霧田将司(福岡獅子奮迅会B)</p>
<p>第25回福岡地区道場対抗弓道大会</p>	<p>6月1日(日) 博多の森弓道場 参加者 452名 矢渡 射手 福永ひろ子 介添 徳重美恵子 飯田由紀子</p>	<p>矢渡しの後競技を開始した。団体戦は5名チームで一手と四矢を各自一回計6射的的中上位16チームによる決勝トーナメントを行なった。個人は6射5中以上を表彰した。</p> <p>団体の部 ①南A(松島博徳、岡村良彰、宮崎吉継、久保雅則、吉弘正敏) ②福津A(桑原正彦、矢田部亮孝、浦川剛、廣田榮基、酒井明) ③中央B(富永博之、後藤基生、川端志津男、禪院滋幸、吉田隆) ③春日A(早田豊、白水和敏、中村聖一、飯村友三郎、許斐隆夫)</p> <p>個人の部 岡田智士(西)、深見恭行(早良)、深見エツ子(早良)、酒井加世子(福津)、許斐隆夫(春日)、森下啓太郎(中央)、小野澄子(南)、大島マキエ(東)、中嶋邦生(宇美)、早瀬浩(宗像)、溝口敬二(至道館)、富永博之(中央)、村上佳子(南)、品川和子(百道)、松島博徳(南)</p>
<p>福寿会射会 兼ねんリンピック予選</p>	<p>6月7日(土) 博多の森弓道場 参加者 74名</p>	<p>大正15年生まれ87歳の後藤武夫選手の矢渡(介添品川和子、坂本奈美穂)の後、一手4立の競技を開始した。</p> <p>男子の部 ①内田安昭(中央)②古賀健治(東)③倉田俊一(西)④毛利幸男(太宰府)⑤岸川博義(南)⑥小林剛(太宰府)⑦横内靖博(西)⑧橋本憲仁(須恵)⑨本郷寅男(粕屋)⑩香取敏夫(博多)⑪横山国治(博多)⑫松崎高(粕屋)⑬松島博徳(南)⑭大石恵一(須恵)⑮吉弘正敏(南)</p> <p>女子の部 ①瀬尾涼子(博多)②村上佳子(南)③山下ヒデ子(古賀)④坂本智美(南)⑤平尾静香(西)⑥吉田厚子(南)⑦須堯さち子(百道)⑧江藤ルミ子(東)⑨品川和子(百道)⑩早川和子(宇美)</p>



射会、大会、講習会	開催日、会場	成績、概要
第21回 ほたるの里弓道大会	6月14日(土) 宝珠山弓道場 参加者 139名 矢渡 射手 養父正利 介添 日野 正 伊藤 均	故佐々木菊太郎範士の出身地である宝珠山弓道場で竹地区の棚田の火祭りに合わせて、標記射会が開催された。渋谷博昭村長のご挨拶の後、矢渡しに続き、1手1立と4矢1立計6射で競技を行った。余興に花的、板割りが行なわれた。 総合優勝 古賀和敏(小郡) 一般男子の部 ①香取敏夫(博多)②篠原政吉(糸島)③森本秀樹(中央) ④江崎寛(久留米)⑤岩永重久(西) 一般女子の部 ①前越里恵子(城南)②淵上祐子(古賀)③岡本美代子(日田) 称号者の部 ①向吉弘己(東)②古賀晃子(城南)③副島多恵子(久留米) ④深見エツ子(早良)
市民弓道遠の大会兼 福岡市議会議長杯	6月22日(日) 博多の森弓道場 参加者 191名 矢渡 射手 倉田俊一	矢渡の後、一手1立と4矢1立で競技を行った。 福岡市議会議長杯 岡村良彰(南) 男子の部 ①岡村良彰(南)②和田俊樹(宗像)③中村聖一(春日)④宮本貞雄(博多)⑤青木俊一(西)⑥伊藤琢摩(甘木)⑦坂田龍一(早良)、倉田俊一(西)、早瀬浩(宗像)⑧緒方充(早良)、安藤正明(武道館)、森本秀樹(中央)、溝口敬二(至道館)、中牟田保(大野城)、碓光治(甘木)、香取敏夫(博多)、深見恭行(早良)、松崎高(粕屋)、久保雅則(南)、徳重毅(中央)、三宅竜哉(須恵)、梅田哲弘(宗像)、吉田隆(中央)、酒井明(福津)、向吉弘己(東)、古賀健治(東)、古賀誠(甘木)、岩熊幹男(至道館) 女子の部 ①森下史子(城南)②永吉加代子(須恵)③春田奈津美(春日)④深見エツ子(早良)⑤高田裕子(南)⑥安山恵美子(宗像)、鈴木祝子(武道館)、長田知子(城南)、大重文子(武道館)、下村理智子(粕屋)⑦湯川周子(甘木)、川邊眞澄(西)、西政子(那珂川)、朝野和江(西)、織田エツ子(城南)、坂本奈美穂(中央)、佐藤洋子(武道館)、石和さつき(西)、藤田由美(太宰府)⑧中園菜保子(中央)、古賀みゆき(東)、相田由美(西)、田中節子(至道館)、山内和美(博多)、矢野文子(城南)、佐藤まさ江(太宰府)、高橋希代美(武道館)、永松菜緒子(武道館)、柴田珠美(大野城)、中川久美子(東) 第20回県弓道遠の選手権大会参加者 男子(12名) 岡村良彰、深見恭行、坂田龍一、三宅竜哉、浦川 剛、梅田哲弘、吉田隆、佐藤裕計、宮本貞雄、古賀 誠、倉田俊一、早瀬 浩 女子(13名) 安山恵美子、森下史子、増田聖子、大島マキエ、織田エツ子、深見エツ子、坂本奈美穂、下村理智子、養父壽子、佐野陽子、小林房江、松尾恵子、永吉加代子



➤ 筑後地区

射会、大会、講習会	開催日、会場	成績、概要
第60回 大藤祭り弓道大会	4月29日 黒木町大明館弓道 参加者 261名 矢渡 射手 永石富重 介添 山口博光 馬渡 千恵美	団体の部 ①相知弓道会（荒久保、日高、篠原）②八女工業A（尾形、立石、東） ③八女弓道会I（坂上、小笠原、溝尻） 一般の部 ①篠原政吉（相知弓道会）②坂上雄一（八女弓道会） ③赤穂貴子（久留米笹りんどう） 学生の部 ①東直人（八女工業）②立石祥吾（八女工業）③西智郁（福島） 女子最高の中賞 赤穂貴子（久留米笹りんどう）
第1回森永杯 （筑後地区総会射会）	5月6日 久留米市弓道場 参加者 120名 矢渡 射手 坂口高精 介添 水田英敏 高尾芳樹	矢渡しの後、競技を開始した。 個人 優勝 青木俊一郎（八女） 称号の部 ①柁島雅清（高田）②高尾芳樹（瀬高）③坂口高精（大牟田） ④寺田公俊（久留米）⑤草場保文（小郡） 四・五段の部 ①大藪巧（八女）②原田幹雄（小郡）③中村泰二（八女） ④東野隆雄（久留米）⑤高橋康弘（八女） 参段以下の部 ①古賀和敏（小郡）②黒岩薫（北野）③永田昭利（小郡） ④山本靖（八女）⑤梅崎栄美（大川）
第49回久留米市長杯	6月1日 久留米市弓道場 参加者 267名 矢渡 射手 水田英敏 介添 江口慎一 奥田弘子	団体 ①チーム福岡B（山道健史、川崎悠貴、棕田孝行） ②柳川弓道会（新谷将史、堤光、岡隆広） ③チーム福岡A（藤野小百合、佐藤泉、春田奈津美） 個人 総合優勝 山道健史（チーム福岡） 一般男子の部 ①新谷将史（柳川）②中村泰二（八女）③白石陸雄（的場） 一般女子の部 ①藤野小百合（久留米）②白石いくみ（的場）③佐藤泉（福智） 高校男子の部 ①高田渉（三池工業）②伊藤暉（福島）③大淵太聖（八女工業） 高校女子の部 ①田中亜美（大牟田）②寺島萌華（筑後）③大石可奈（八女農業）



射会、大会、講習会	開催日、会場	成績、概要	
県内統一伝達講習会 (称号者)	6月8日(日) 久留米市弓道場 参加者32名 矢渡 射手 高尾芳樹 介添 岡 隆広 岩永洋子 主任講師 高尾芳樹 講師 原田瑞枝 江上みどり 北 重晴	財団法人日本体育協会公認指導員の専門科目免除講習会も兼ねており、3名の申請者の行射検定試験が行われた。 先生方の熱い指導に引き込まれ17時過ぎまで熱心に受講生は研修した。準備体操は梶島雅清受講生。礼記射技・射法訓唱和を草場保文受講生の先導で行われた。 矢渡しは静かな弓道場の中で受講生が見守る中、3名の息がぴったりと合い、受講者全員が一体となっていた。射手の意気込みと射手へ送られる想いの気が見えるような介添の姿に受講生一同、気が引き締る思いであった。矢渡終了後、原田瑞枝講師(第一介添)、江上みどり講師(第二介添)による介添指導・講評が行われた。受講生からは様々な質問に対して、講師の先生方に丁寧に説明をして頂いた。続いて、一手行射(新競技の運行)、行射講評、公認スポーツ指導員についての講話が午前中に行われた。 午後は基本動作の研修及び4射場に分かれての射技研修が行われ射場をローテーションして担当射場の先生に指導頂いた。続いて、2射場に分かれて持的坐射礼と一つの坐射礼の研修、その後、審査の要領で検定試験(一手行射)が行われ講習会が締めくくられた。 受講生からは、教本をしっかり読んで常に基本に返ることが重要であるという感想がきかれた。	
	参四五段講習会	6月15日(日) 久留米市弓道場 矢渡 射手 北 重晴 介添 清松和也 笹原小巻 講師 北 重晴 近藤良介 長尾弘文 藤野小百合	佐賀で行われた連合審査と講習会が重なったことで、受講生が29名とやや少なかったのが残念であった。 準備体操は河口直美受講生。礼記射技・射法訓唱和を奥田弘子受講生の先導で行われた。 矢渡後、長尾弘文講師(第一介添)、藤野小百合講師(第二介添)による介添指導・講評が行われた。 続いて、審査の要領で一手行射を全員実施し、4名の講師による講評が行われた。 午前の最後の講習内容として、「新しい運用、ルールについて」近藤良介講師による講話が行われた。丁寧に詳しく説明され、とても良かったとの受講生の声を聴くことができた。 午後は基本動作の研修をした後、4射場に分かれての射技研修が行われた。その後は2射場に分かれて持的坐射礼の研修、新しい運行(競技の要領)で一手行射を行い、一日の研修を締めくくった。

訃報

- 平成26年6月6日
故宮崎 武臣 先生 錬士五段(享年91歳)

謹んで先生のご冥福をお祈りいたします。

(注)4月1日から6月30日までに県連事務局に連絡のあった物故者(称号者)